

いみ行政について

質問 家庭ごみ袋有料化による収益の用途は。

また、ごみ袋の製造原価や販売手数料はいくらなのか。その金額を示すとともに、ごみ袋の価格引き下げに対する市の見解を伺う。

答弁…環境経済部長

ごみ袋有料化による収益については、特定財源として管理したり、基金として積み立てている地方自治体もあるようですが、本市では、手数料収入として一般財源に入っています。収益の用途については、有料化の運営に必要な経費のほか、市民の福祉の向上に有効に活用しています。

ごみ袋の製造原価は、1枚45円のごみ袋(大)で申しますと6円34銭であり、販売手数料は4円50銭で、差し引き34円16銭になります。また、ごみ袋の価格の引き下げについてですが、現在のところ、価格の変更は考えていません。

再質問 ごみ袋の利益率が非常に高い。収益は一般会計に入っているようだが、特定財源として管理するなど、その目的をはっきりさせて、ごみの排出抑制策に使用すべきである。市の考えは。

答弁…環境経済部長

ごみ袋については、製造原価や販売手数料以外にも、保管や管理に費用がかかります。また、ごみの収集運搬や処理にも多額の費用がかかっています。

そういった中で、収益については、有効に活用していきたいと考えています。

市立病院について

質問 新病院の延べ床面積や病床数、1床あたりの面積はどうなるのか。また、周辺の道路整備については、どのように考えているのか。

答弁…市立病院事務局長

市立病院基本構想・基本計画における延べ床面積については、1万5700㎡を上限とし、病床数は200床程度としています。したがって、単純計算すると、病床1床あたりの面積は、78・5㎡になります。なお、病室については、市民ニーズのある個室を増やし、個室率を50%程度に引き上げることとしています。

周辺の道路整備については、今後の基本設計の中で、建物や駐車場の配置等を決めていくこととしていますので、現在は未定です。

再質問 香川県地域医療再生計画には、坂出市立病院は香川労災病院等の後方支援を行う、と書かれている。しかし、市立病院基本構想・基本計画には、その記述がない。なぜなのか。

答弁…市長

後方支援をするということは、結果的に、不採算部門を多くするということになります。

したがって、そのために市立病院に多額の赤字が発生した場合、誰が補償するのかという問題があります。決して、県は補償してくれません。

後方支援については、市立病院の独立性と採算性を一番考えて、今後、検討していきたいと考えています。

観光行政について

質問 市長は、これからの坂出市の観光行政について、どのような構想を抱いているのか。

答弁…市長

本市は、昭和53年の瀬戸大橋の槌音とともに「瀬戸大橋のまち坂出」として、観光の照準をすべて瀬戸大橋に集中してきました。しかしながら、私は坂出の本来の姿は、悠久の歴史に象徴されるものではないかと考えています。

万葉の島・沙弥島は、柿本人麻呂という、宮廷歌人で、時の帝の絶大な寵愛を得た人物のゆかりの地であります。府中には、平安初期、讃岐の国司として、菅原道真が4年の長きを過ごした歴史があります。

今後、「古(いしにしえ)のロマン」を観光のバックボーンとして、五色台の歴史、府中の国府跡、沙弥島の古墳群の3地点を結ぶ観光デルタ構想とともに、本市の観光ビジョンを構築していきたいと考えています。そして、そこから派生するものを現代風にアレンジしながら、時流を得た観光行政を推進していきたいと考えています。



柿本人磨碑(沙弥島)